

# 上京

史蹟と文化

# 美を創る



意匠紋彫師  
いしやうもんぼり

河村 和子

上京区堀川通寺之内下る竹屋町

西陣織の手機部門の丸帯や袋帯のための「紋彫」を正確にこなす河村和子さんは、京都市伝統産業技術功労者の表彰を受けられるとともに、平成十三年には叙勲を受章されるなど高い評価を得ておられます。また、京の伝統産業春秋会会長や西陣意匠紋紙工業協同組合理事長を女性で初めて務められ、西陣織業界をはじめとする伝統産業の振興に力を注がれています。歳末のひととき、西陣意匠紋紙工業協同組合の会館でお話を伺いました。

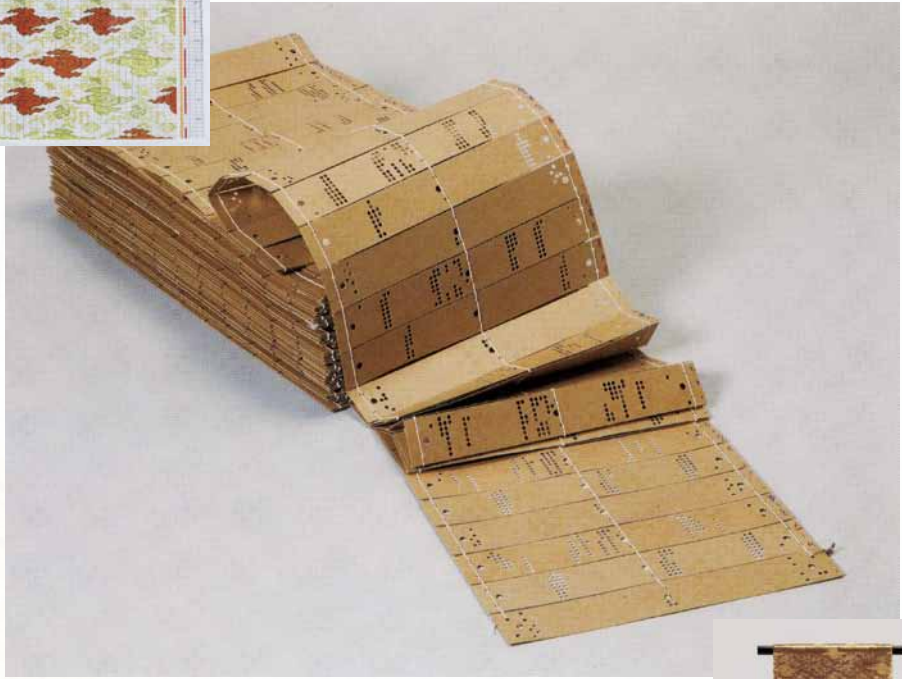
昔から意匠紋紙がなかったら織物は成り立ちません。

最初に、図案の描かれた正絵しやうえを織物の設計図である紋図にします。紋彫という仕事は、この紋図を見ながら、ピアノマシンと呼ぶ装置で柄や紋様をつくる穴を紋紙というパンチカードに穴を開け、経糸たせいとの上がり下がりや緯糸おしとの打ち込み順を情報として打刻していくものです。この紋紙をジャカードに掛けて、織物が織られていくことになりました。父が紋彫を創業したのは大正十一年で、一本一本打ち込んで穴を開ける「台彫だいぼり」が技術革新によりピアノマシンになった頃でした。その後、私が十九歳のときに父が急逝し、家業を継ぐことになりました。当時、





紋意匠 伊藤 孝



意匠紋彫 河村和子



帯地手織 藤原弘子

紋彫は私以外全員男性で苦勞もりましたが、小さな妹たちがいたので、頑張って仕事に打ち込みました。

コンピューターの時代になつてからは、さらに技術革新が進み、紋紙を使わずに、

紋図をスキャナーで読み取つて、その情報をフロッピーディスクに入れ、織機に掛けられることが多くなりました。意匠紋紙の業界も最盛期には二百三十軒余りありましたが、和装業界全体が厳しくなる中で、徐々に減つて、今では五十軒前後になっています。ピアノマシンを使う紋彫はわずか三人だけになってしまいました。

それでも、これまで培つてきた技術は若い人たちにぜひとも伝えていきたいと思っています。修学旅行の生徒さんや体験学習で来られる方には紋彫の実演を行います。若し、三年前には、組合創立七十周年を記念して、若い職人さんを育てていくために「西陣の紋をつくる」という教本を発刊する作業に携わりました。

仕事の合間には、生け花やお茶をたしなみながら、これまで先人が築き上げられてきた伝統を未来へと引き継いでいくことが、自分の大切な役割であるという思いです。

# 冷泉家と御所 (其の二)



公益財団法人冷泉家時雨亭文庫

常務理事 冷泉貴実子

冷泉家二十代冷泉為理

(二八二四—一八八五)は、江戸時代から明治にかけての人。彼は、ほとんど全生涯にわたる日記を遺した。

時代が明治に移る十三年前、嘉永七年(一八五四)、この年十一月には改元され安政となった年の四月六日、御所から出火した火事は燃え広がり、旧院御所、禁裏御所、准后殿をはじめ「上は寺ノ内あたり、西は千本、下は榎木町まで」を焼いた。現在の京都御所は、この火事で焼失の翌年、安政二年

に再建されたものである。

この日の為理の日記を見てみよう。現在の暦でいえば、五月上旬頃に当るこの日は晴れていた。

午刻(昼の十二時)を少し下り、机に居てふと南の方を見るに、墨色のごとき煙、はなはだしく盛んに立ち昇り、旋風(つむじ風)激しく、乾(北西)の方のうち靡く。失火と心得るに、鐘も聞こえず、また内外はなはだ静謐(静かなこと)、人声も聞こえず。しかし近火には相違なしと、家司義雅に命じ、「そ

の火元を高見よ

り見るべく」申

すに、しばらく

して、顔色変え

来たりて、「旧院

北御隣、当時敏

宮(有名な皇女

和宮の異母姉)

の御住所の芝御

殿(女院御所の

こと)の由申

す。

余(為理が自分のことを示し

て言っている)驚き、早速衣冠を着し(そのまま飛び出さず、ここで衣冠を着するところが公家らしい)、懸緒元結(冠の結びひもはこより)で、太刀を持ち義雅に申す。「火盛んの様子、自然大火に相成る節は、皮笈(皮で作った背負い箱。非常時には大切な物を入れて持ち出すためのもの)はもちろん、文庫初め、蔵々堅固の用意(文庫を初め各蔵の扉を閉め、土で目



現在の御車寄

張りをし、中に火が入らないようにすること)、家内無事立ち退くべき等)を荒々令じ、馳せ参内(御所に上がる)する。

その頃、(御所の)乾門の内、行き違いの人、市の如く(多くの人がいる)。煙ますます盛んの色なり。例の参内の御門前(公卿門)に

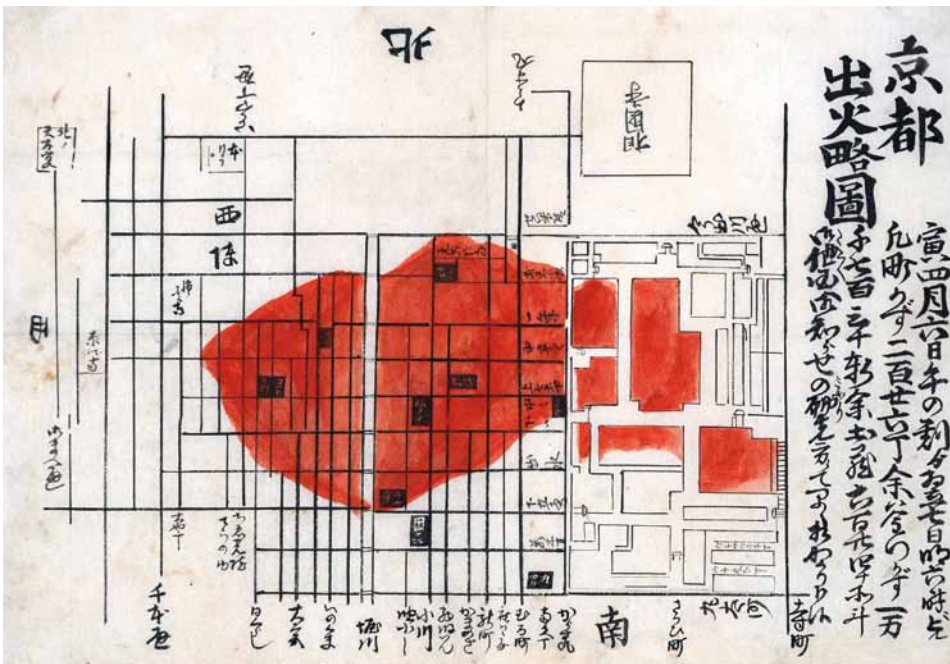
南殿半ば焼亡、黒雲のごとき煙の内、紅の火炎、火炎として書くにも書けず、言うにも言えず、誠に恐れ入る事なり。

も構はず、申の口(西南の入口)まで持ち行く。女房甚だ混雑。儀の間もこれ無し(女房達は決まった手順を踏む間もない)。

# 京都

## 出火略図

宣四月初五日午の刻より七時の時迄  
凡所より二百五十丁余迄のす  
凡所より二百五十丁余迄のす  
凡所より二百五十丁余迄のす  
凡所より二百五十丁余迄のす



嘉永大火火災図 (京都市歴史資料館蔵)

て、下より

綾小路三

位、馳せ参

じ来られ、

「ただ今南

殿へ火移り

候」旨申さ

る。早々、

車寄せ昇

殿(車寄せ

より昇殿し

た)。(連れ

て来た)家

来うち捨

て(そこに

ほつたらか

し)の催し

なり。

廊下を行

くに、何様

(とにかく) 廊下を行くに、何様(帝の)御立退きの御輿、戸障子御襖うちくたくばかり、跡も何

も構はず、申の口(西南の入口)まで持ち行く。女房甚だ混雑。儀の間もこれ無し(女房達は決まった手順を踏む間もない)。

火の追ひ来たる事、矢よりも早し。時節来たと観念。

内侍所(三種の神器の一つ、鏡を安置する所)第一に火飛び焼亡

する。程よく、御滞りなく御立退

き出来る。劔璽同上(三種の神器

の劔と玉も御立退く)。

この間、主上(帝)を五六の輩

をして「早く」と申し、御衣(帝

の衣服)を引くごとく、つれまし

来たる所へ、表使出で来たり「非

常御用意の御輿、御服所(御所の

場所の名)に用意これ有り」と。

「ただ今待ち来たるに及ばず。」旨

申し、早々御服所へ出御(帝は御

服所へ出られた)。仕丁(輿をか

く人)各廻り居る(回って来てい

る)。速やかなことなり。

御服所に於て、(帝は)御輿に

召され、先々この上は安心。各供

奉御立退き。(次号へ続く)



# 御土居と河原町

河原町通というと三条・四条間の繁華街を思い出しますが、現在では、北端を鴨川に架かる葵橋に始まり、その先は新しい下鴨本通に続き、南は十条通の陶化橋に至る六・六キ口になります。河原町通は今も広小路通あたりに残る御土居の位置から見て、その外側の鴨川との間に開かれた道路なのです。

御土居は桃山時代に豊臣秀吉が天下統一を成し遂げ、京都の市街

地改造の一つとして天正十九年（一五九一）から、鴨川と紙屋川の内側の堤防を活用して、北は鷹ヶ峯、南は九条を囲む総延長二・五キロに及ぶ土堤で、洛中の水害



葵橋

と軍事的防禦を目的として築かれました。さらに東側の御土居に沿った内側に寺院を集め、平安京の東京極大路が寺町といわれるようになります。その後、鴨川の治水によつて御土居の外側が開発されると、鴨川沿いの御土居も崩され、狭はめられた鴨川の河川敷に新地が開かれます。河原町をはじめ、土手町、西石垣などの通り名が生まれたのは、これによるのです。さらに慶長十六年（一六一一）、角倉了以によって計画

された運河は浅い川床のために、平底の高瀬舟を通したので高瀬川と

いわれるようになり、運搬した材木商が集まると、木屋町の名が生まれました。寛文八年（二六六八）に鴨川の大改修工事が行われて新堤が完成したことにより、御土居と鴨川の間には新道と市街地が開かれるようになります。

寛永十四年（一六三七）作製の『洛中絵図』（宮内庁書陵部蔵）では御土居の外側が描かれていませんが、『寛永以後万治以前京都全図』では御土居の外側に荒神口から丸太町までの間に「河原町」とあります。おそらく川東へ通じる荒神橋を基点として、東海道の入口である三条通から南へ、旧五条

## 上質で新しい 京都ブライトンホテル



きらめくおもてなしを  
あなただけのとっておきの時間を  
京都ブライトンホテルで  
こころゆくまでお過ごしください



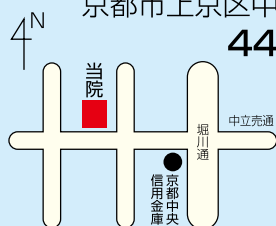
京都ブライトンホテル

〒602-8071 京都市上京区新町通中立売（御所西）  
TEL.075-441-4411(代) FAX.075-431-2360  
<http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/>

## 耳鼻咽喉科 鈴木医院

京都市上京区中立売通堀川西入  
441-0675

診察時間 午前9時～12時  
午後4時半～7時半



	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	×	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

祝休診



御土居(広小路)

通であった松原通あたりまで延びて行ったようです。

## 広い河原町通の誕生

河原町通は明治から大正時代に  
至るまで、周辺に残存しているよ  
うな幅の狭い道であったと記録さ  
れています。明治二十八年には平  
安遷都千百年を祝し、岡崎の地で  
第四回内国勧業博覧会が開催され  
るにあたり、輸送手段と博覧会の  
目玉として伏見京橋から竹田街  
道・木屋町通・二条通を経て会場  
まで日本最初の営業用電車を走ら  
せました。京都電気鉄道株式会社

が、一〇六八ミリ幅の狭軌で開業  
し、その年のうちに木屋町二条か  
ら寺町通を経て、丸太町通を西  
へと延長します。つづいて明治  
三十四年には寺町丸太町から寺町  
通を北へ、出町(青龍町)まで単  
線で営業を始め、全市へと路線を  
広げて行くのです。

明治四十五年、道路を拡張した  
烏丸通や四条通などで京都市が  
一四三ミリの広軌(標準軌間)  
の電車を営業開始します。やがて  
大正七年には、京都電鉄は京都市  
電に併合されて広軌化が進められ  
て行きます。大正末年から昭和の  
初めにかけて、昭和の御大典を前  
に木屋町・寺町線を一本化し、河  
原町通を拡張して広軌の市電を通  
すことを計画しました。まず大正  
十三年十月一日に今出川・丸太町  
間が開通したのを皮切りに南進し、  
昭和四年までに塩小路まで全線開  
通し、西から広軌で建設されてき  
た今出川線とつながり、幹線とし  
ての河原町線が形成されるのです。

## 出町界限

出町は大原口から洛外へ出ると  
ころという地名で、古来からの交  
易の場でした。それは今も変りな  
く、鯖街道の終着点でもあり、枳  
形の名も御土居の出入口を意味し  
ます。その繁栄ぶりは、寺町線の  
京電が乗り入れていたことでもわ  
かります。

大正十四年には対岸の田中上柳  
町から八瀬間に京福電鉄の叡山線  
が開通し、両方の地名をつけた出  
町柳駅ができました。これによっ  
て高野川流域の洛北地域との交通  
路が整備され、鴨川をまたぐ出町  
橋を挟んで商店街ができ上がりま  
した。高野川と賀茂川の合流点は  
今よりも北で、今の出町橋と河合  
橋のところまで剣先が伸びてきた  
ことよって二本の橋となり、そ  
れより下流は鴨川の文字を使って  
います。川は合流するに従って成  
長し、名を変えて行くのです。昭

香水・薫香・薬種 輸入製造  
**山田松香木店**

〒602-8014  
京都市上京区勸業由小路町164(御所西)  
TEL 075-441-4694  
FAX 075-431-7879



ぼたん鍋と京料理

**元祖 畑かく**

京・上御霊前烏丸西

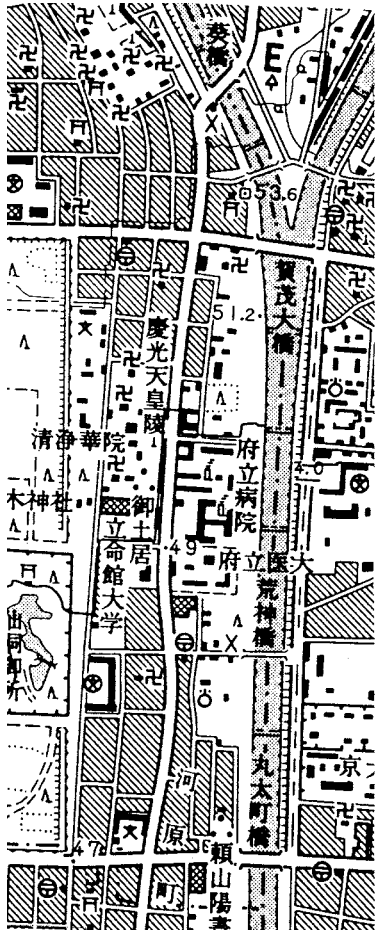
☎075・四四一・〇六一〇代

和六年に河原町―百万遍の新道に市電が敷設されることよって賀茂大橋が架設され、さらに銀閣寺道まで延長されます。

今の河原町通の北部、今出川から広小路あたりまでは御車道と呼ばれ、鴨川との間に北から伏見宮別邸、梶井宮本邸、日光門跡里坊がありました。維新後に上

地されて一部は民有地となり、梶井町の名がつけられ、今では了徳寺や、北村美術館・御車会館・聖ドミニコ修道院などとなっています。

今出川通から南へ二筋目、御車道と寺町の間の細い道を白梅図子といいます。今ではその名も忘れ去られています。かつて市電が走っていたころには「白梅図子」という停留所があったことを覚えておられる方もあるでしょう。このあたりを今では新夷町というのは、明治二年に新松屋町と夷町が



1:25,000地形図「京都東北部」  
(昭和54年第2回改測) 国土地理院発行



1:20,000地形図「京都北部」  
(明治42年測図) 陸地測量部発行

合併したもので、元は松屋町通丸太町下るにあつたのを元禄十六年(一七〇三)の所司代屋敷の拡張のために替地として移動し、安永年間(一七七二―一七八一)以後、煮売茶屋と唱える遊女屋があつて幕末には大いに繁栄しました。「安永刊本京町鑑」では「虱図子」と

いい、虱を移されたからとか白梅という美しい遊女がいたからだと、美醜相反する説が伝えられています。明治五年には十六戸の茶屋が残っていましたが、同七年に廃止され、跡形も残っていません。(以下次号)

(出雲路敬直)

## 柔道圓心道場

〒602-0014  
京都市上京区室町通寺之内上ル下柳原北半町 210  
TEL (075)441-1968 / FAX (075)441-2972

## 山崎接骨院

〒602-0898  
京都市上京区烏丸通寺之内西上ル相国寺西門前町 647  
TEL (075)451-6050 / FAX (075)451-6051

<http://www.enshin.sakura.ne.jp/>

新・古茶道美術品

清昌堂

やました

京都店・京都市上京区小川通寺ノ内上ル

〒602-0061 TEL (075)431-1366

FAX (075)431-1370

東京店・東京都新宿区市谷甲良町1-8

〒162-0856 TEL (03)5261-4566

FAX (03)3235-5677



# 上京の昔ばなし

まえがき

上京区文化振興会が昭和五十一年五月に創刊した『上京史蹟だより』は、『上京乃史蹟』と名を変えながら年四回（後に回数は減る）、四ページのリーフレットとして上京区内の各町内に回覧しました。小さな紙面に盛り沢山な上

京区内の知られざる歴史の背景を、当時のそうそうたるメンバーの史蹟調査部編集委員によって執筆されたのです。

その第一号の冒頭で、当時の中島泰之助会長が「発刊にあたって」の一文で今に通じる意気込みを表明されています。「上京に住する私達はかつて歴史の脚光を浴びた

文化史蹟を守らねばならない。それなればこそ、上京にある栄光の史蹟を再認識し、日毎に変わる都市の変貌の波に、さらわれつつ文化の史蹟を守り、長く後世に伝承したいものである。『上京史蹟だより』はこうした意味で発刊されるのである。」と。

『上京乃史蹟』は平成三年まで五十五号を数え、そのあとは本誌『上京―史蹟と文化』が発展的に受け継ぎ、上京区全世帯に配布を続けています。今ふりかえると、執筆者のほとんどは幽界に赴かれ、ここに書かれなければ永久に伝えられなかつただろうと思われる。三十数年を過ぎた今、学術書にも引用されたこともある高度な内容を改めて翻刻するのも、上京の歴史を語る上に大切なことではないかと考え、文化人でもあった故中島泰之助氏が書き残された「上



一条戻橋

京区内の知られざる歴史の背景を、当時のそうそうたるメンバーの史蹟調査部編集委員によって執筆されたのです。

しみじみと心のかよう 贈りもの

<http://www.toraya-group.co.jp/>

蔵 くらや

¥2,500で食べ放題+¥480で飲み放題!!

**ブランディアのディナーbuffet**

"PRANDIA" DINNER BUFFET

京都ロイヤルホテル&スパ1階のレストラン"ブランディア"のディナーbuffetがリニューアル!! 人気のローストビーフのカットティングを含む約30種類のお料理が食べ放題で¥2,500、さらに4種類のアルコール飲み放題が+¥480。両方あわせてもお1人様¥2,980!! ぜひお気軽にご利用ください!!

毎日 17:30~21:00 (90分制:17:30~/18:00~/19:30~)

**お1人様 食べ放題 ¥2,500 & 飲み放題 ¥480**

※表記料金にはすべて税金・サービス料を含んでおります ※ご予約優先

ご予約・お問合せ: レストラン"ブランディア" Tel.075-223-8973 (直通)

地下鉄京都市役所前駅から徒歩で約1分

京都ロイヤルホテル & スパ

京の昔ばなし」を再録することにしました。第一号から連載された本稿は、昭和六十年の逝去によって三十五話で終わっています。

長い年月の間に現状も変わり、新しい学説と合わないところもあるので一部に手を加え、現状の写真撮影し直しました。

## 第一話 一条戻橋

堀川は平安京造営のため運河として、北の山々から木材の運搬に利用された。その伝統は近世まで

尾をひき、堀川の両岸には材木商が多かった。平安京では、京の北端の一条大路に堀川を跨ぐ橋が架けられ堀川一条橋が出来た。この橋が戻橋で、その名の由来は千年程昔にさかのぼる。当時有名な文章博士、三善清行が病重く、それを伝え聞いた子息の浄蔵法師は紀州熊野から急ぎ都へ帰って来た。丁度堀川一条橋に来かかり、父の葬列に会い、棺をとどめて嘆き悲しんだ。浄蔵は法力無双、直に数

珠を押し揉み祈願すると、不思議や一度死んだ父は生き戻った。浄蔵の喜び限りなく父を抱いて家に戻った。これより橋の名は戻橋と言うようになったと伝えられる。平安期の戻橋は都の町はづれで、堀川に流れる水音も物凄く淋しい場所だったようだ。渡辺綱と鬼女との物語は「源平盛衰記」剣巻に記されている。それが明治初年に河竹黙阿弥が書き下した常盤津の「戻橋」で、これを歌舞伎芝居に上演して大好評を博した。

天正十九年、茶聖千利休は太閤秀吉の勘気に触れ、二月二十八日葎屋町の利休屋敷で自刃して果てた。時に利休七十歳、稀代の芸術家は一条戻橋で首を曝された。京の重要な歴史的史蹟も、毎日車の風塵の中にある。

## 第二話 観世屋敷

お能の家元観世家の屋敷は明治の初年まで、大宮通今出川北入るところにあったが、屋敷跡も今で

は西陣中央小学校に変貌している。ここを観世町といい、町名のみが昔の名残りをとどめている。

観世家は昔大和猿楽の結崎座の太夫であったが、足利三代將軍義満の応安七年（一三七四）観世清次（観阿弥）が、奈良から京都に来、今熊野の新日吉社で、義満の御前で能を舞った。義満ははじめて見る猿楽能に非常な興味を覚えて感嘆し、それ以後絶大な能楽の愛好者となった。今まで社寺に頼っていた猿楽が今を時めく將軍の厚い

保護の下に、育てられることとなった。しかも観阿弥の豊かな天分は能楽を大きく発展に導いた。子の世阿弥も当時は十二歳の美少年で藤若丸といったが、義満の寵愛を得、天稟の才芸は父に劣らず、能楽の地位を更に向上せしめた。世界に誇る偉大な劇芸術である能楽は、この父子によって大成したのである。観世座が生れ大和猿楽の他の宝生、金春、金剛と共に能楽四座が以来六百年にわたる基礎を固めることが出来た。因みに喜



観世稲荷社

多流は江戸の初期に生まれ、今では能楽五流という。

義満は観世に室町幕府「花の御所」の西方に屋敷を与えて住わせた。これが観世家歴代の住宅で、観世屋敷といひ明治初年まで続いた。昔から邸内に大きな井戸があり、今も屋敷跡に残っている。深い井戸には今でも水を湛え、水面は絶えず動いて小さな波紋をえがいている。この波紋を圖案化したのが観世水で、観世流のシンボルマークとなり、その他染織や工芸の文様にも多く用いられている。

井戸の傍に稲荷の社がある。もと観世家の鎮守の神で、一足稲荷と観世童王が祀られている。流儀の発展に伴い、社殿も改築され、観世家をはじめ職分の人々の崇敬をあつめている。

## 第三話 幻の塔

相国寺の東門、上立売通附近を塔の段町と昔から呼んでいる。塔の段とは塔の土壇を意味する。塔

がこのあたりにあった跡で、町名のみが往時を物語っている。「相国寺塔供養記」には、その塔の落慶供養の行われた当時の有様が詳しく記されている。足利三代將軍義満が室町に幕府を造営し、天下に將軍の權威を示すと共に続いて足利家菩提のため隣接する東面の広大な地域に寺を建立した。禪僧義堂周信に帰依していた義満は春屋妙葩しんのふちばとも計り至徳元年（一三八四）には仏殿を落成し、続いて其の他の伽藍も着々と建立した。明徳三年（一三九二）八月末義満は盛大な落慶供養の式を挙げてゐる。山号を萬年山、相国承天てんぜんじ禪寺と称した。七年後の応永六年は義満の父義詮の三十三回忌に当るので、その追善供養を行うため、境内に七重の大塔を建立したのである。この塔の高さは一一〇メートル、洛中の空を突いて高く聳え立った。落慶の供養は同年の九月十五日盛大に執り行われ、青蓮院の門主尊道法親王が導師とな

り千人の僧侶が参列した。義満は勿論この盛儀に臨席したが、朝廷でも公卿殿上人を列席せしめ將軍の意を迎えた。七重の宝塔は洛中を睥睨しへいげい恰も將軍の勢威を誇示する様であった。相国寺も禪宗五山の第一位となったが、七重の大塔は永く雄姿を地上に留めることはなかった。僅か四年後の応永十年六月洛中に雷鳴とどろき霹靂へきれきは一瞬にして大塔の宝輪に落ちた。附近の衆徒が耳を覆いあれよあれよと呼ぶうち猛炎は忽ち塔を包み、さしもの大塔も火中に消え失せた。地上の存在僅かに四年は措みて余りあるが、相国寺の寺歴では炎上、戦禍、類焼等の災厄が相ついだため消滅の運命はいづれは免れ得なかつたに違いない。相国寺が今日の寺觀を復したとはいへ幻の塔は遂に再び出現することはなかった。

## 第四話 鶯宿梅

春にさきがけて咲く梅の花は平

永年の信用  
まごころのご奉仕

葬祭センター

 **公益社**

本社／京都市中京区烏丸通三条下ル ☎ (075)221-4000  
フリーダイヤル ☎ 0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

◆ 葬儀式場 ◆

北プライトホール (堀川黎明) 京都市北区黎明通堀川東入ル ☎ (075)414-0420  
中央プライトホール (五条大和路) 京都市東山区五条通大和路 ☎ (075)551-5555  
南プライトホール (堀川八条) 京都市南区堀川通八条下ル ☎ (075)662-0042  
西プライトホール (五条西大路) 京都市右京区五条通西大路西入ル ☎ (075)322-0042  
山科プライトホール (五条外環) 京都市山科区五条通外環状線東入ル ☎ (075)595-0042  
烏丸プライトホール (因幡薬師) 京都市下京区烏丸高辻南入東入 ☎ (075)351-7724  
宇治プライトホール (宇治横島) 宇治市横島町(京都文教大学前) ☎ (0774)20-0042  
滋賀プライトホール (大津) 大津市朝日が丘1丁目 ☎ (077)523-0042

安王朝の頃から最高の花とされた。

春くれば宿にまづ咲く梅の花

君が千歳のかざしとぞみる

これは古今集にある紀貫之の歌



鶯宿梅（林光院）

で、八条宮の古稀を祝った賀歌である。貫之は殊に梅を愛し庭内に梅を植え早春ともなれば馥郁として薫る梅花に歌人の情熱を燃やしていた。

時の帝村  
上天皇の  
御代、清涼  
殿の前庭に  
あつた梅の  
木が枯れ  
た。帝はか  
ねてこの梅  
花の清楚な  
花を愛で芳  
ばしい香り  
を喜ばれて  
いたが、梅  
の枯死に大  
きなシヨツ  
クを受けら  
れ、側近の  
人達は帝の  
落胆を見る  
にしのびず

帝を慰めるため、ふさわしい梅の名木を探し求めた。

折よく西ノ京のあたりで見事な梅が見つかり早速帝のお召であるといつて御所に移し植えられた。

翌朝帝が清涼殿の前庭を御覧になると一本の見事な梅が植えられ、いたく御満足の態であつた。然し梅の枝には一葉の短冊が吊され水茎のあともしやさい女文字で

勅なればいともかしこし鶯の宿はととはばいかに答へむ

とあつた。歌の意は帝の仰言なれば謹んでお受けはしますが、この梅の木を宿とする鶯が帰り来て、自分の宿はどちらに行つたかと言われた時は、何と答えたものかと言ふ女心の優しさを歌つたものである。

帝はこれをよまれて梅の持主の優しい心根に深く感動され歌の主をさがさせた。それが紀貫之の娘であることが知れ、その優しさと機智の名歌にうたれ梅の木は再び

元の古巢に戻されることになつた。それよりこの梅は鶯宿梅と名づけられた。時移り貫之の西ノ京の屋敷は足利三代將軍義満の二男義嗣菩提の寺となり義嗣の法名林光院殿に因んで林光院という寺となつた。林光院も其の後転々として今では相国寺の塔頭寺院となっている。

有名な鶯宿梅の名木も今では何代目かが、毎年美しい花を咲かせ相国寺の藪鶯の宿となっている。



紀元前3000年頃。パンのシンボルが描かれ、食料配給の割り当てが記録されている。

和光印刷株式会社

〒602-0012 京都・烏丸通上御霊前上ル TEL.075-441-5408代

E-mail:info@wako-print.co.jp

# 上京茶会



秋の「上京茶会」が、平成二十四年十一月十一日、叡昌山本法寺を会場に、裏千家による懸釜で開催されました。朝から肌寒い雨が降る天候となりましたが、本阿弥光悦作である国指定の名勝「巴の庭」に降る雨にもまた風情があり、お茶を味わいながら心静かに過ごすひとときとなりました。また、来場された方は、重要文化財である長谷川等伯の「仏涅槃図」をはじめ、多くの貴重な資料が保管されている宝物殿の見学をお茶席とともに楽しんでいただくことができました。

## 上京区民 ふれあい史蹟 ウォーキング

平成 24 年 11 月 25 日、快晴の秋空の下、「上京区民ふれあい史蹟ウォーキング」が開催されました。

今回は、西陣児童公園をスタート、大宮通を北上し、大徳寺から、船岡山、建勲神社、千本ゑんま堂、釘抜地蔵を巡り、翔鸞小学校をゴールとする約4キロを歩きました。

180名を超える参加者は、途中史蹟の説明を受けながら、色づく紅葉の中、心地よいウォーキングを楽しむことができました。



## 上京区民ふれあいまつり 2012

「上京区民ふれあいまつり2012」が、平成24年10月28日に二条城北小学校で開催されました。時折雨が強く降るあいにくの天気でしたが、各学区・団体による模擬店やあそびコーナー、啓発・PRコーナーは多くの区民でにぎわいました。特設ステージでは、京都インターナショナルスクールによる「歌&ダンス」、同志社大学サークルHocus-Pocusによる「マジック&ジャグリング」などが披露され、会場を沸かせました。かみぎゅうくんと京都サンガF.C.の選手も登場し、会場に集まった子どもからお年寄りまでたくさんの方々が互いにふれあう楽しい1日となりました。



# 上京 薪能

第48回「上京薪能」が、平成24年9月21日に白峯神宮で開催されました。

第一部では、各社中による舞囃子、仕舞、箏演奏が披露され、火入れ式を執り行った後、第二部では花柳実子社中邦舞「長唄八島官女」、宮城社・麻ノ会箏演奏「秋の初風」、観世流舞囃子「清経」、大蔵流狂言「舟船」、金剛流能「松山天狗」などが上演されました。

秋の夜のひととき、薪の炎に映える幽玄の情景に多くの来場者が魅了されました。



## 「みんなで花を咲かそう」活動

区役所の仮庁舎への移転に伴い、昨年10月にボランティアの皆さんにより、新たなプランターへの植え込み作業を行いました。植えられた花々はきれいに手入れをされて、美しく庁舎入口を飾っています。来庁される方に憩いと安らぎを与える場となるように、また、講習会等を通じ、まちの美化や環境問題などについても考える機会を上げていければと、日々取り組んでいます。

園芸に興味をお持ちで、継続して花の手入れをしていただける方は、お気軽に区役所地域力推進室まちづくり推進担当までお問い合わせください。

(電話441-5040)



宴会・婚礼・会議  
宿泊・レストラン

あじわい

¥5,000(税別)

ホテル

# ルビノ京都堀川

〒602-8056 京都市上京区東堀川通下長者町  
TEL 075-432-6161(代) FAX 075-432-6160  
<http://www.rubino.gr.jp/>



レストラン

11:30~14:00

毎週日曜日はお得な  
ランチバイキングを  
しております

おひとり

¥1,500(税込)

「上京・史蹟と文化」は上京区役所地域力推進室まちづくり推進担当で販売致しております。(TEL 441-5040)  
また、上京区役所のホームページで御覧いただけます。

<http://www.hanakobo.co.jp>

フリーダイヤル 0120-46-8700



大切な方への御供えのお花、お誕生日、御祝のお花、  
結婚式のブーケなど心に残る記念日を  
お花で彩るお手伝いをさせていただきます。

花工房 京都本店 京都市丸鳥通今出川下ル  
TEL 075-414-8700 FAX 075-414-7787



- 神学部
- 文学部
- 社会学部
- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 政策学部
- 文化情報学部
- 理工学部
- 生命医科学部
- スポーツ健康科学部
- 心理学部
- グローバル・コミュニケーション学部
- グローバル地域文化学部(2013年4月開設)



Doshisha University  
**同志社大学**  
<http://www.doshisha.ac.jp/>

お問合せ先 同志社大学 企画部 広報室 広報課 TEL:(075)251-3120

## 酢一筋の商い、伝統の滋味。

伝統から未来へ  
京・西陣 孝太郎の酢  
**(有) 林孝太郎造酢**

京都市上京区新町寺ノ内上ル東入道正町455  
TEL (075) 451-2071  
FAX (075) 451-8028



創立以来七十八年に  
わたって、  
和やかな家庭的な  
雰囲気にもまれつつ  
就学前教育の  
本流をめざして、  
保育を続けて  
参りました。  
幼児たちは  
楽しい遊びを通して、  
人生に必要な生きる  
力のすべてを手に入れます。

学校法人 **北野幼稚園**

京都市上京区御前通一条下る (北野天満宮バス停下車南100m)  
TEL.463-0111(代)  
[http://homepage3.nifty.com/kyotokitano\\_k/](http://homepage3.nifty.com/kyotokitano_k/)



名物どうぶ  
**南禅寺** JUNSEI

左京区南禅寺門前 電話 075-761-2311  
<http://www.to-fu.co.jp>



MALEBRANCHE  
京都 北山

洋菓子

マルブランシュ 北山本店

〒603-8053 京都市北区北山通植物園北門前  
TEL (075)722-3399・FAX (075)702-9440  
9:00AM~9:00PM 年中無休 (喫茶10:00AM~8:30PM)  
<http://www.malebranche.co.jp/>

# ミサワホームイング

リフォームをお考えの方に

ミサワホームの設計基準に基づき、建物の安全性や耐久性を損なうことなく  
性能・機能・デザインをグレードアップします。

**ご希望のカタログをお電話でお申込ください。**

複数選択可

1 住まいのメンテナンス編

2 屋根・外壁リフォーム

3 水廻りリフォーム

4 ECOリフォーム

5 高齢者対応 (ユニバーサルデザイン)

6 外構・造園リフォーム

7 ホームイング実例集

8 ミサワホーム総合カタログ



住まいを通じて生涯のおつきあい

**ミサワホームイング 近畿 京都営業部**

〒604-0022 京都市中央区東町通御池1-6-10 御池2ビル323 07521113211

■お申込はこちら

**0120-330-937**

火・水曜日 日休 受付時間 AM10:00~PM6:30



# 上京

史蹟と文化